

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年1月29日

上場会社名 株式会社田村電機製作所

(コード番号:6712 東証第1部)

(URL <http://www.tamra.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 吉岡 正紀

問合せ先責任者 役職名 執行役員 経理部長

氏名 鈴木 譲

TEL:(03)-3493-4972

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年12月31日)

(1) 売上高

	百万円	%
16年 3月期第3四半期	26,892	0.6
15年 3月期第3四半期	27,064	-
(参考) 15年 3月期	36,365	-

(注) 売上高(又はこれに相当する事項)は、当該四半期までの累計値です。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示します。

平成15年3月期第3四半期の売上高についての開示は行っておりませんが、当第3四半期と同様の方法により算出したものです。

売上高の数値については、監査法人による監査を受けておりません。

売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国の経済は、企業収益の改善や株価の持ち直しなど、一部に景気回復の兆しがみられましたが、デフレの長期化や個人消費の低迷から市場競争が一段と激化する厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当企業グループは平成13年度から取り組んでいる経営構造改革計画「TRP 21」(Tamura Revival Plan 21)を推進して、引き続き事業の拡大と企業構造の改革による収益力の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期の売上高は、設備投資の低迷などの影響により企業向け商品の受注は減少しましたが、ネットワーク関連商品等の受注が増加したことにより268億9千2百万円(前年同期比0.6%減)とほぼ前年同期と同等の売上高を確保いたしました。

部門別の売上高の概況は、次のとおりです。

システム商品分野

システム商品分野の売上高は、135億9千7百万円と前年同期に比べ2.7%増加いたしました。これは、IP電話サービスに対応したビジネスホンシステムの新商品を市場投入して受注の確保に努めたことに加え、昨年下半年から市場投入した無線遠隔監視システム等の受注拡大に努めたことにより、その売上高が増加したによるものです。

コンポーネント分野

コンポーネント分野の売上高は、132億9千4百万円と前年同期に比べ3.8%減少いたしました。これは、OEMカードプリンタ等の新商品の受注が増加しましたが、設備投資の低迷と市場競争の激化などの影響により、レジャー産業向けカードリーダーユニット等の受注が減少したことによるものです。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当企業グループは、市場環境の急激な変化と市場競争の激化に対応して事業基盤を確立し、情報通信業界において強みを発揮できる市場でのトップシェアを目指して、株式会社大興電機製作所との経営統合を行います。

2月2日に株式移転により持株会社「田村大興ホールディングス株式会社」を設立し、当社および株式会社大興電機製作所の両社はその傘下に入ります。その後4月をめどに、両社は共同新設分割により持株会社の子会社として統合会社を新設し、事業統合する予定です。

3. 平成16年3月期の連結業績予想

当該四半期における業績は、概ね予想どおりに推移しており、通期の業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因により異なる可能性があります。

以上